

<シェリル・メイナー大佐の2020年11月22日のビデオメッセージ>

今週の祈りのテーマは「感謝の心」です。神の箱がエルサレムに運ばれた時にダビデがささげた感謝の歌が、歴代誌上 16:8-12 に記されています。「主に感謝をささげて御名を呼べ。諸国の民に御業を示せ。主に向かって歌い、ほめ歌をうたい 驚くべき御業をことごとく歌え。」ダビデは、神様のすばらしさを証ししようとする「感謝の心」を持っていました。神様はわたしたちを良い事で囲んでおられるにもかかわらず、忙しさの中で感謝を忘れがちかもしれません。悩みや心配で心が占められて、感謝の思いが無くなることもあるでしょう。困難や葛藤が続いていると、神様の存在自体を遠く感じて、祈りはもう聞かれないのではないかと思うことすらあります。しかし、そういう時こそ意識して感謝して行くなれば、大きな変化が起こります。わたしたちは自分の意志で感謝することを選ぶことができるのです。どんな状況でも感謝するならば、心に祝福が満ちてきます。そして、わたしたちは孤独ではなく、神と共にいてくださることを感じられるようになります。神は環境を変えてくださるだけでなく、心を変えてくださいます。わたしたちの心が神に向けられ、葛藤から心を解放し、平安と喜びと愛で満たしてください。どんな状況に置かれていても、目を問題に向けるのではなく、神に目を向けましょう。わたしたちに力が無くても、力ある神がわたしたちの味方です。感謝する時、わたしたちは謙遜になり、神に頼るようになります。感謝する時、わたしたちは与えられている祝福と恵みを思い起こします。感謝する時、心から不平と不満は去ります。感謝する時、敵は去ります。なぜなら、感謝のあるところに闇の力は近づくことができないからです。感謝する時、扉が開かれ、聖霊がわたしたちの心を開いて、祝福と恵みを注いでくださいます。いま、困難と孤独を感じ、お金がなくて先行きの不安をおぼえている方があるかもしれません。しかし、感謝の心を選び続けていただきたいのです。神が与えてくださっている良い事を、ひとつひとつ数え上げ、感謝をささげてください。神は必ずこの時を通り抜けさせてくださいます。神の愛の配慮を信頼し続けてください。その時、感謝することは、あなたにとって神様を証しする姿勢となっていくのです。